

第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策(令和5年度)

1 概要

施設名	吹田市立市民公益活動センター	所管部室課名	市民部市民自治推進室
実施日時	令和6年2月20日(火曜日) 10:00~11:00	実施場所	吹田市立市民公益活動センター 会議室

2 助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	自主事業として、職員によるLINEスタンプの開発・展開によって登録者数が増加傾向にあり、利用促進/施設への愛着度の貢献に期待できる。	引き続き、LINEを活用して利用促進及び施設への愛着度の貢献に努めます。	1 管理運営 (1)事業運営
2	施設管理だけでなく、事業の実施に力を入れており、さらに、センター内だけでなく、アクセスしにくい団体にもアウトリーチしているのは評価が高い。ぜひ他の市町村等の支援センターにも事例を共有することを検討して欲しい。	特に生活圏の近い北摂エリアを中心に、他の支援センターと情報共有しながら事業に取り組みます。	1 管理運営内容 (1)事業運営 3 サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況
3	経費縮減について、長く継続されており、引き続き努力されたい。	引き続き、経費縮減に努めます。	1 管理運営内容 (2)経費縮減
4	環境配慮について、課題等は省エネ、省資源をやるだけ、やっているなかで、どのように水準よりも優れたものにするかである。	吹田市環境まちづくりガイドライン(環境配慮指針)を遵守した施設管理に努め、新たな知見や手法などに注意を払い、更なる貢献を進めます。	1 管理運営内容 (3)環境配慮
5	備品の貸し出しなども充実しており、更なるサービス向上を期待する。	利用者ニーズに沿ったサービスを提供できるよう努めます。	2 利用者満足度 (1)利用者対応
6	利用者促進として「おすそわけマーケット」や「市民ギャラリー」は来設の機会・参加の接点になる良い取り組みである。これらの取り組みが好評となっており、新たな参加者・市民公益活動を行う人が増えていくことが望まれる。こうした優れた取り組みについての案内や告知をさまざまな媒体を使って更に強化することも課題の1つである。 一方で「おすそわけマーケット」において、おすそわけする「モノ」が増えてくる状況は施設での新たな運営管理が必要になってくるため、交換を促す仕組み、施設での管理体制の仕組みを構築することも課題となってくると考えられる。	紙媒体をはじめ、SNSや地域メディアなどを活用しながら、周知に取り組みます。 「おすそわけマーケット」については、来館を促す仕掛けであるため、リユースを本格的に検討すべき状況が発生すれば、他の団体や行政との協働を模索します。	2 利用者満足度 (2)利用者サービス

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
7	更に広いサポートのための、アウトリーチに力を入れることを期待する。	特に地域諸団体に対するサポートが展開できるよう、担当課とも連携しながらアウトリーチに取り組めます。	3 サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況
8	職員全員の意欲を強く感じた。今後一層の努力と発展に期待する。	市民公益活動の社会的価値を理解し、時代のニーズに応じたサービスが提供できるよう、職員の能力向上に努めます。	今後期待される点やその他特記事項